

令和5年度

デジタル化をお考えの中小企業の皆様へ

中小企業 DXハンズオン 相談支援

DX事例集



課題解決に向けて
企業に寄り添った伴走型支援

一般財団法人 さっぽろ産業振興財団



CONTENTS

CHAPTER 01 「DX化」について 3

DX化とは何か、DX化のメリットなどDXのポイントを分かりやすくご紹介します。

CHAPTER 02 中小企業DXハンズオン相談支援の流れ 4 - 5

ご相談をいただいてから、ご支援させていただくまでの流れをご紹介します。

CHAPTER 03 相談事例紹介

今年度、実際にDX化の支援をさせていただいた企業様を現場スタッフの声を交えながらご紹介します。

CASE - 1	株式会社FUJI	営業業務のデジタル化による業務効率化	6
CASE - 2	北札幌電設株式会社	勤務時間のデジタル管理による業務効率化	7
CASE - 3	本間塗装株式会社	日報・稼働スケジュールのデジタル管理による業務効率化	8
CASE - 4	株式会社丸加水産	発注方法・社内情報のデジタル管理による業務効率化	9
CASE - 5	株式会社ブランディア	シフト管理・配車管理のデジタル化による業務効率化	10
CASE - 6	株式会社アイトラスト	案件管理のデジタル化による業務効率化	11
CASE - 7	北栄興業株式会社	日報集計のデジタル化による業務効率化・生産性向上	12
CASE - 8	医療法人社団あいさに	問診票関連書類のデジタル化による業務効率化	13
CASE - 9	PromJapan株式会社	契約書の電子化による業務効率化	14
CASE - 10	株式会社宝石の玉屋	顧客情報蓄積としてデジタルツール活用による生産性向上	15

01 「DX化」について

DX化とは

DXとは、Digital Transformation（デジタルトランスフォーメーション）の略で、直訳すると「デジタル変革」という意味になります。

DX化を行うということは、企業がAI、IoT、ビッグデータなどのデジタル技術を用いて、業務フローの改善や新たなビジネスモデルの創出だけでなく、レガシーシステムからの脱却や企業風土の変革を実現させることを意味します。

DX推進はあらゆる企業にとって、変化の激しい時代のなかで市場における競争優位性を維持し続けるための重要なテーマとなっています。



DX化を進めると…

業務改善をはじめ様々な経営変革に繋がります！



AIツールを導入し
業務改善ができた！



顧客との連絡・連携が
スムーズに！



新たなマーケットに
挑戦できた！



生産性が上がり
利益が向上した！

私たちは、DX化を進め従業員やお客様取引先、金融機関などのステークホルダーに"選ばれる企業"になるサポートをいたします。

02 中小企業DXハンズオン 相談支援の流れ

ご相談をいただいてから、ご支援させていただくまでの流れをご紹介します

4つのステップでDX化をサポート！



資格を保有した専任DXアドバイザーによる
定期訪問と伴走支援で企業のDX化をサポートします。

STEP 01

現状把握と課題整理



現状把握

DXヒアリングの実施と直近3か年決算書(最低直近1か年)の収集を行い現状把握を行います。



可視化

業務で扱う情報について、流れ・媒体・受渡方法などをヒアリングし一覧表にて可視化(当社作業)致します。



課題整理

診断結果を元に課題を整理し、「DXによる売上拡大」「DXによる業務改善」「DXによるリスク回避」に沿った目標を設定します。

STEP 02

DX(デジタル化)計画の策定

ステップ1にて抽出した課題を取りまとめ、実現可能な目標設定を行ったあと、支援期間内に事業を完了するための計画書(ロードマップ)を作成・提案致します。

対象支援企業とアドバイザー間で課題に対する意識や方向性を共有し、意見交換を踏まえつつ、計画を策定していきます。

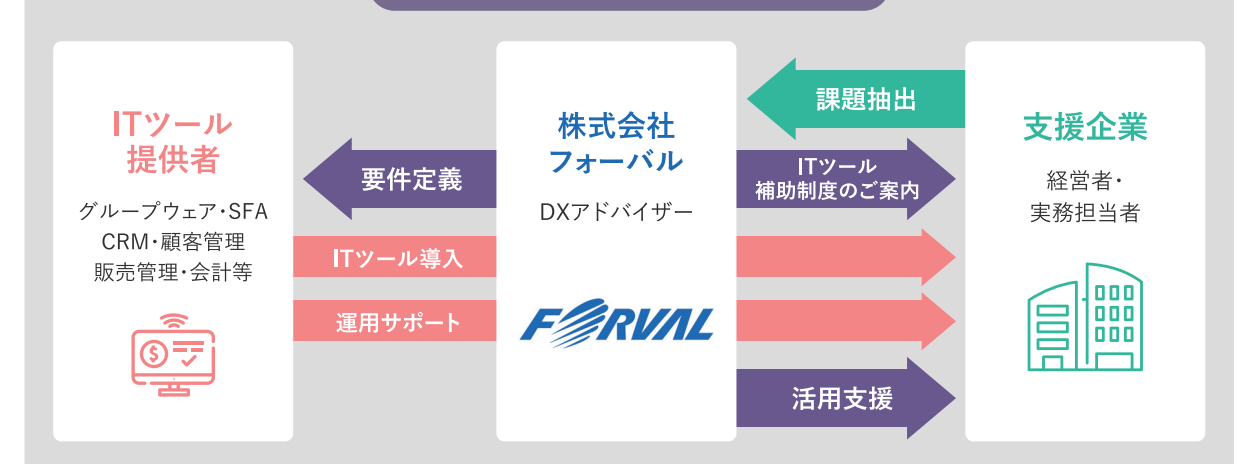


STEP 03

ITツール導入支援

- ITツールの導入には、実費費用が掛かる為、活用可能性が高い公的機関の各種補助、助成制度を支援企業に案内し、補助及び助成金獲得のための支援を行います。
- 担当する伴走支援者(DXアドバイザー)が導入したITツール提供先と連携し、有効活用が出来るよう、またITツール導入による課題解決が実現出来るよう伴走支援致します。

ITツールの導入・支援の進め方



STEP 04

ITツール活用・効果測定

- ITツールの導入前と導入後について専門的な観点から効果測定を実施致します。
- 「DX(デジタル化)計画の策定」にて作成したロードマップを元に進捗状況を整理分析を行い、新たな課題への取り組み項目の割り出しを行います。



03 相談事例紹介

CASE - 1

株式会社FUJI

| 事業内容 食品卸業

| 従業員数 57名

事業参加までの
背景・課題

主業であるカタログ通販での販売店様へのカタログ希望数の把握がFAX(紙)でのやり取りであったため、業務効率を図りたいと考えていた。提案書作成に多くの時間を要しており改善したいと思い本事業に参加した。

取組内容 | 営業業務のデジタル化による業務効率化

カタログやチラシの必要数をFAXでやり取りしていた為、Excelをベースとしたフォーマットを作成。新たなシステム導入による改善よりも、営業担当者がExcel活用に慣れている事から営業提案書をマスターのExcelに集約しJANコードで自動入力ができるフォーマットを作成。

導入ツール

- Google Forms
- Microsoft365 Excel

導入成果・成果予測

- ✓ 年間カタログと歳暮カタログの注文受付にフォーマットを活用し、申込みが増えた。
- ✓ Excelのスキルが向上し、個人レベルで作業の効率化に取り組むようになった。
- ✓ ペーパーレス化により、印刷費・Co2排出量の削減につながった。
- ✓ 1件あたり10分以上(300件/月)かかっていた営業提案書作成作業が自動化され、月あたり、1000分(100件/月)の時間削減が見込める。

1000分/月
削減業務効率
UP

導入担当者の声

営業部内の業務が複雑化しており、日々のルーティーン業務にかける作業時間が課題でした。PCの稼働状況から、1日の大半をExcel作業が占めていることがわかり、改善に取り組みました。結果、作業時間の改善と課員のExcelスキルが向上したことによりDX化が加速して、従業員それぞれが業務の効率化へ意識を向けることが出来るようになりました。

担当アドバイザーより
お客様の課題による伴走支援の進め方

商品管理システムのご導入を検討されていました。業務内容をツールで確認させていただくと、仕事の約50%がExcelを利用されておりました。システム導入の前に、まずは商品情報の整理と、日々使用しているExcel業務で労力を削減できるのではないかと思います。導入済みのMicrosoft365サービスを活用して効率アップのイメージを持っていただきました。

CASE - 2

北札幌電設株式会社

| 事業内容 電力プラント建設業

| 従業員数 69名

事業参加までの
背景・課題

勤怠管理においてタイムカード打刻と紙での打刻作業を行ない、さらにタイムカードをスキャンして本社へ送信および原本を郵送しており時間と郵送代がかかっていた為、改善したいと思い本事業に参加した。

取組内容 | 勤務時間のデジタル管理による業務効率化

打刻した勤務時間をクラウドに自動アップロードするタイムレコーダーを選定。現在使用されているタイムレコーダーメーカーに問い合わせ、導入した。

導入ツール

- タイムレコーダー

導入成果・成果予測

- ✓ 現在テスト運用中。打刻した勤務時間をクラウドに自動アップロードされる電子管理への移行により、集計時間に2~3日/月かかっていた作業の時間削減が見込める。
- ✓ ペーパーレス化により、印刷費・Co2排出量の削減に繋がった。

2~3日/月
削減紙の使用量
削減

導入担当者の声

DX化はしたいけど、どうすれば良いか分からない状態であり深く考えず事業に参加しました。アドバイザーの方々から優しく丁寧に多くのご提案をいただき、DX化に無限の可能性を感じました。甘く考えていた自身を見つめ直すきっかけとなり、現実的に出来る部分と優先順位を明確にし、着実にDX化を進めていきたいと思っています。

担当アドバイザーより
お客様の課題による伴走支援の進め方

始めのヒアリングで、DX化をする上で多くの課題があることがわかったので、支援期間で何が出来るかを考えて伴走支援を進めました。電子帳簿保存法対応について、勤怠管理、ワークフローの課題に対して解決方法をご提示し、勤怠管理のDX化を進めることができました。

CASE - 3

本間塗装株式会社

| 事業内容 塗装業

| 従業員数 16名

事業参加までの
背景・課題

日報、稼働スケジュールの管理を紙で行なっており、正確な管理ができていなかった。日報から請求業務において作業に時間がかかっている為、改善したいと思い本事業に参加した。

取組内容 | 日報・稼働スケジュールのデジタル管理による業務効率化

業務フローをヒアリングし、
日報、稼働スケジュール管理のフォーマットのたたき台を作成した。
テスト運用を行いながら、実施結果に応じて改良し、
フォーマットの完成まで支援した。

導入ツール

■ Microsoft365 Excel

導入成果・成果予測

- ✓ 現在の日報業務での紙の印刷枚数(30枚/月)の削減や、経理側の集計時間(5h/月)の削減に繋がった。
- ✓ ペーパーレス化により、印刷費・Co2排出量の削減に繋がった。

5時間/月
削減紙の使用量
削減

導入担当者の声

DX化に取り組むにあたっての一連の進め方や考え方、実際に取り組むとわかる新たな課題発見など、大変多くの学びがあり有意義な機会となりました。記載の導入成果以上にどうしても後回しになりがちな課題に対し伴走型で支援いただけたことで、しっかりと向き合うことが出来ました。今回をきっかけに今後もひとつひとつ課題を解決していきます。

担当アドバイザーより
お客様の課題による伴走支援の進め方

業務フロー、利用ツール一覧の可視化から実施し、協議を重ねながら現在使用しているフォーマットの改良・運用を開始することが出来ました。
今後はBefore/Afterでの効果検証をすると共に、作成した計画をもとに、次なる課題への着手など、全社的にDX化を推進していけると、より良くなると思います。

CASE - 4

株式会社丸加水産

| 事業内容 加工食品製造

| 従業員数 37名

事業参加までの
背景・課題

アナログ業務からなる発注の確認漏れや処理に時間を要しており、フロント営業への負担を軽減したかった。社内情報が一元管理されていなかったため、確認作業の低減、社内情報の統一化を図りたいと思い、本事業に参加した。

取組内容 | 発注方法・社内情報のデジタル管理による業務効率化

発注方法を統一化する為のフォーマット作成および使用方法のレクチャーと、
テスト運用による改善を実施。管理者が編集する作業が増えるため、
簡単にできるようなフォーマットを作成。未使用のサーバーの活用方法の
レクチャーおよび使用する為の権限等を設定した。

導入ツール

■ Google Forms
■ サーバー

導入成果・成果予測

- ✓ 本格的な運用開始により、手作業での発注処理が1時間→40分程に削減。
- ✓ 社内共有されていなかった情報を一元管理することにより確認作業の低減、社内情報の統一化が見込める。
- ✓ ペーパーレス化により、印刷費・Co2排出量の削減に繋がった。

業務時間
効率化紙の使用量
削減

導入担当者の声

お客様のニーズに応えるため、当社が取り扱っているアイテム数は膨大な数となっしまい、受発注のフローも多岐にわたってありました。今回支援を受けるにあたり、交通整理を行い、受発注フォームを作成していただいたことによって、一本化することができました。現在は試験的に運用中ですが、その点も含め、今後もDX化に向けて邁進していきたいと思っています。

担当アドバイザーより
お客様の課題による伴走支援の進め方

ほぼすべての業務が紙主体で行われており、まず現状把握から始めました。見えた課題を整理し、将来を見据えた取り組み事項の列举と優先順位が決められたことが何よりの成果だと感じています。また、「DXを進める」という経営者のコミットメントとキーパーソンの意思統一が図れていることで、今後もDX化が進展していくと思います。

CASE - 7

北榮興業株式会社

| 事業内容 鉄鋼製造

| 従業員数 80名

事業参加までの
背景・課題

工場での日報集計作業に時間と労力がかかっており、改善したいと考えていた。工場の工数管理の効率化や、社内データの共有が出来ていなかったこと、ほぼバックアップもされていない状況を改善したいと思い、本事業に参加した。

取組内容 | 日報集計のデジタル化による業務効率化・生産性向上

作業を簡略化するためにMicrosoft Formsを活用し日報フォーマットを作成。Microsoft Formsの導入と使い方、運用方法のレクチャーを実施。Office365の契約があった為、OneDrive(クラウドストレージ)の活用準備と、社員毎に権限割り当てを実施。運用ルールの策定も行なった。

導入ツール

- Microsoft Forms
- Microsoft OneDrive

導入成果・成果予測

- ✓ テスト運用にて必要情報の集約と、確認ができた。日報集計作業の軽減により、約40分/日の時間削減に繋がった。
- ✓ 本社と工場が離れており案件毎の工数算出に時間を要していたが、日報の効率化によりリアルタイムで工数算出が可能となり、大幅な効率UPに繋がった。
- ✓ 社内データの一元管理、データ消失のリスク回避が見込める。

40分/日
削減リスクの
低減

導入担当者の声

日報作業については手書きの昔ながらのスタイルで記入していましたが、今回の電子化で各自の携帯電話から簡単に入力ができるようになりました。効率化が図れた上にデータもしっかりとれるので今後の活用に期待が持てます。ちょっとした工夫や仕組みで作業が効率的にできるのは非常に助かりました。

担当アドバイザーより
お客様の課題による伴走支援の進め方

自社の問題点はピックアップされていたため、その課題設定、解決策の実行を支援しました。解決するためのツールは保有しているものの、未使用だったため、課題に合わせたツールの使い方をレクチャーしました。取り組みは簡単なことから始め、新しいやり方に慣れたら次のステップへ、という段階を設定しながら進めたことがポイントです。

CASE - 8

医療法人社団あいさに

| 事業内容 医療

| 従業員数 5名

事業参加までの
背景・課題

現状問診票や関連書類については、紙での取得後、手計算で集計しスキャンして電子カルテへ反映していた。労力と時間がかかっている状況を、改善したいと思い本事業に参加した。

取組内容 | 問診票関連書類のデジタル化による業務効率化

問診表、関連書類のデジタル化協議。
Googleフォームとスプレッドシートにて検討。集計データの表示形式を議論。初診では問診表と併せて、MES、ASRSチェックシートを使用。MES、ASRSのチェックシートを作成。

導入ツール

- Google Forms
- スプレッドシート
- Google Looker Studio

導入成果・成果予測

- ✓ 2種類のチェックシートの電子化により、紙ベース保管から脱却に繋がった。
- ✓ 情報手入力からデータ集計の自動化による作業効率の改善が見込める。
- ✓ ペーパーレス化により、印刷費・CO2排出量の削減に繋がった。

業務効率
UP紙の使用量
削減

導入担当者の声

診察時に使用する2種類のチェックシートをデジタル化しました。このことで、ペーパーレス化を実現し、印刷にかかる費用とCO2排出量を削減することができました。環境への配慮と効率的な業務の遂行が可能となっております。この成果をもとに今後はさらに多くの文章や手続きをDX化していきたいと考えています。

担当アドバイザーより
お客様の課題による伴走支援の進め方

支援当初より大まかな業務の流れを整理していただいたため、課題の訴求と計画策定、ツールの導入支援を実施しました。ツールに関してはDX化の1歩として無償のツールでテスト的に導入しました。1つずつ課題解決へ着手し、効果を実感していただいたのちに、次なる課題の解決へ着手し、DXのメリットを感じていただくよう支援を行いました。

CASE - 9

PromJapan株式会社

| 事業内容 卸小売業

| 従業員数 5名

事業参加までの
背景・課題

契約書関係のデジタル化を考えていた。省エネ商品の卸販売、法人向けのSDGsコンサルティングをしている関係もあり、脱炭素に繋がる取り組みをしていきたいと思い参加した。

取組内容 | 契約書の電子化による業務効率化

業務の流れを把握し、デジタル化できる業務の選定を行なった。
また、電子契約ツール(シムワーク)のデモを実施し、活用方法のレクチャー
および、テスト運用を進めた。
テスト運用時の活用状況を確認し、本格運用開始する予定。

導入ツール

■ シムワーク

導入成果・成果予測

- ✓ 紙で交わされていたものが電子に代わり、契約書として使用する紙の削減、製本、郵送、ファイリング保管の業務効率化が図れた。
- ✓ 電子契約により印刷費用、郵送費用、印紙代の削減に繋がった。
- ✓ 契約行為に関わる業務の時間短縮、契約締結までの期間短縮に繋がった。

業務時間
効率化紙の使用量
削減

導入担当者の声

当社はDX、GX、SDGsを事業に取り入れながら、お客様へこれらの事業への活かし方を伝えていくことを生業としています。
そのため、今回のDXハンズオン支援でまだ対応できていなかった電子契約を進めることができて良かったです。
電子契約のデモをアドバイザーの方にしていただき、そこから使い方も徐々に理解することができました。

担当アドバイザーより
お客様の課題による伴走支援の進め方

本事業開始前にHRMOS勤怠の導入をして積極的にDX化に向けた取り組みをされていたため、電子契約ツール(シムワーク)の活用もスムーズに行われ、経費削減、業務効率化を図ることができました。

CASE - 10

株式会社宝石の玉屋

| 事業内容 宝飾小売 金地金売買 宝石修理リフォーム

| 従業員数 5名

事業参加までの
背景・課題

宝石のオーダー、リフォームにおけるナレッジ共有の必要性を感じており情報の蓄積ができていなかった為、改善したいと思い本事業に参加した。

取組内容 | 顧客情報蓄積としてデジタルツール活用による生産性向上

既存システムでは網羅できない情報管理の解決策を検討した。
候補ツール選定と、活用イメージの説明を実施。
Microsoft Viva Engage(従業員コミュニケーションプラットフォーム)を導入した。
Officeソフトのサポートも考慮し、Microsoft365を採用した。

導入ツール

■ Microsoft Viva Engage

導入成果・成果予測

- ✓ 新たにプラットフォームを活用し、お客様との接点情報の蓄積と、情報の一元管理を行い、対応方法のナレッジ共有と分析が可能となり、お客様対応の品質向上が見込める。
- ✓ 対応結果にキーワードを盛り込むことで、事例確認が可能となり、ナレッジの共有ができることで、更なる接客スキルの向上が見込める。

業務効率
向上生産性
UP

導入担当者の声

課題をヒアリング、導入のイメージを道筋だてていただきました。顧客とのプロセスを、画像や携わったスタッフのナレッジなどを記録化する事で引継ぎ、教育やノウハウの蓄積につながると確信がもてました。
システムを作るとコストと時間がかかってしましますが、既存のソフトを上手く使う事で上記内容がクリアになることを期待しています。

担当アドバイザーより
お客様の課題による伴走支援の進め方

見えてきた課題が、当社で普段から行なっており、成果に繋がっているナレッジの共有でしたので、自信を持ってお勧めしました。
操作性と検索性が簡単である点が共感いただけました。

CASE - 5

株式会社ブランディア

| 事業内容 花き卸売

| 従業員数 21名

事業参加までの
背景・課題

夜勤アルバイトの適正な人員配置とシフト管理ができていなかった。花の配達用配車管理が個人の経験則によって進められていた。このためDX化による改善を進めたいと考え本事業に参加した。

取組内容 | シフト管理・配車管理のデジタル化による業務効率化

配車管理等を誰でも把握できるよう、販売システムのCSVデータをもとにGoogle Looker Studioで分析できる状態を整備。

配送管理のフォーマット作成、シフト管理表のサンプル共有、工場の人員把握ができるシフト管理シート作成および使用方法のレクチャーを実施。

導入ツール

■ Google Looker Studio

導入成果・成果予測

- ✓ 現在テスト運用中で、本格的な導入は組織体制変更後の予定。導入後においては、配車管理作業が1時間→20～30分程に削減が見込める。
- ✓ 感覚ベースでのシフト管理から、人員配置の適正化が図れるようになった。今後は、未来予定のシフト計画作成にも活用されとのこと。

30分/日
削減人員配置
適正化

導入担当者の声

配車管理についてはテスト運用中ですが、アナログで行っていたことがデータ利用の分析ツールにて、必要情報を整理し、利用できる段階まで到達しました。今後はどう有効活用していくかを考え、更に進めていきます。出退勤時間の管理は、時間管理だけでなく、繁閑の際のアルバイトを含めた適正人員の立案にも利用し始めています。

担当アドバイザーより
お客様の課題による伴走支援の進め方

膨大なデータがあるにも関わらず、それを有効活用できていない事で無駄な工数や費用が発生していました。データを分析できる状態に加工し、既存のシステムの修正なども含め、今後DXを推進していくための課題を整理させていただきました。

CASE - 6

株式会社アイトラスト

| 事業内容 不動産

| 従業員数 4名

事業参加までの
背景・課題

案件進捗状況の管理について、現在紙で行われており正確な管理ができていない為、改善したいと思い本事業に参加した。

取組内容 | 案件管理のデジタル化による業務効率化

業務のフロー図を作成し、現在の管理方法と課題を列举した。

現在の案件管理項目と、作成する管理表の項目のすり合わせを実施し、案件進捗管理のたたき台を作成。

要件定義を行いながらフォーマット修正を行い、現在運用中。

導入ツール

■ 業務フロー図
■ スプレッドシート

導入成果・成果予測

- ✓ 業務の流れを整理し、課題を抽出した。
- ✓ 案件進捗状況の一元管理が可能となり、作業の抜け漏れ防止が見込める。
- ✓ リアルタイムで把握を行うことにより、素早く課題を把握し、迅速な対策を打てるようになった。

リスクの
低減業務効率
UP

導入担当者の声

支援事業を通じて、業務のフローを洗い出し、可視化することで、案件ごとの進捗状況が一目で確認できるようになりました。事務処理上の疎漏がなくなり、正確な業務遂行に役立っています。事務員も業務を俯瞰してみることができるようになり、習熟度の向上に寄与しています。

担当アドバイザーより
お客様の課題による伴走支援の進め方

業務の流れを整理し、課題となるポイントの列举を行いました。頭の中では理解していたものの、図式化で整理されたことにより、課題と解決策を見つけやすくなりました。今後は経営者と管理担当者同席のもと、修正や協議を重ねていき運用する予定です。将来的には、業務のマニュアル化を行っていきます。

お問い合わせ

[発行]

一般財団法人 さっぽろ産業振興財団 IT産業振興部

〒004-0015 札幌市厚別区下野幌テクノパーク1丁目1-10

札幌市エレクトロニクスセンター

Tel：011-807-6000 Fax：011-807-6005 Mail：it-pro@sec.or.jp

札幌市経済観光局経済戦略推進部 イノベーション推進課 IT産業係

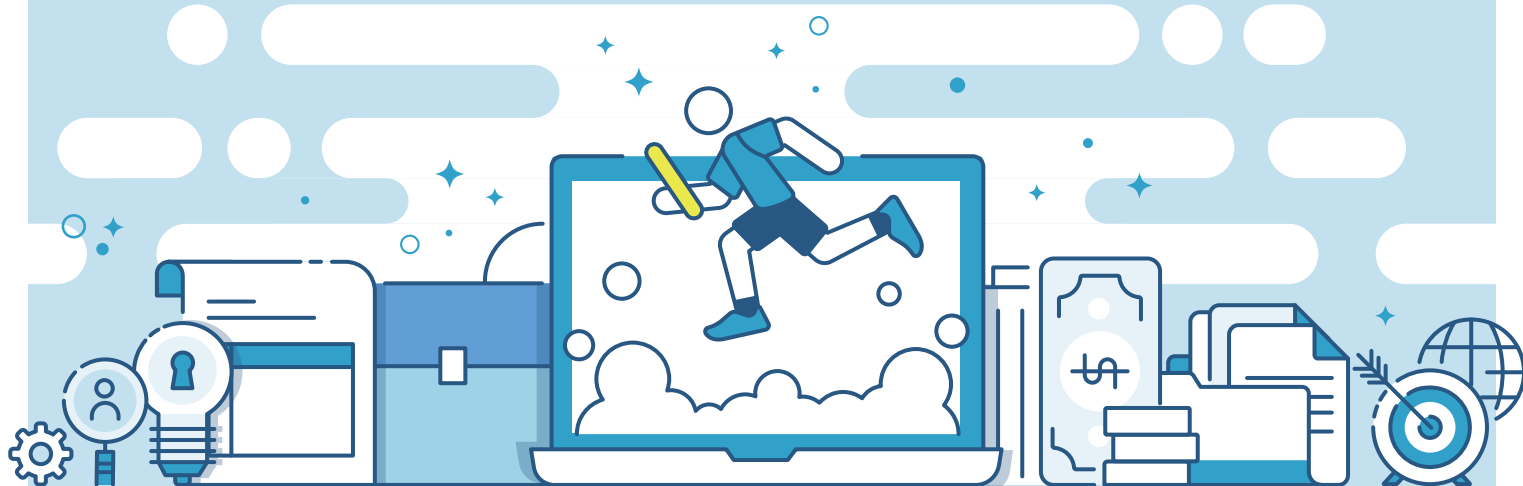
Mail：it.contents@city.sapporo.jp

令和4年度

デジタル化をお考えの中小企業の皆様へ

中小企業 DXハンズオン 相談支援

DX事例集



課題解決に向けて
企業に寄り添った伴走型支援

一般財団法人 さっぽろ産業振興財団



CONTENTS

CHAPTER 01 「DX化」について 3

DX化とは何か、DX化のメリットなどDXのポイントを
分かりやすくご紹介します。

CHAPTER 02 中小企業DXハンズオン相談支援の流れ 4 - 5

ご相談をいただいてから、ご支援させていただくまでの流れをご紹介します。

CHAPTER 03 相談事例紹介

今年度、実際にDX化の支援をさせていただいた企業様を
現場スタッフの声を交えながらご紹介します。

CASE - 1	星北商事株式会社	勤務時間のデジタル管理による業務効率化	6
CASE - 2	株式会社プライマル	導入済デジタルツール利活用による業務効率化	7
CASE - 3	株式会社エンヴェロップ	業務の効率化及び電子帳簿保存法への対応	8
CASE - 4	株式会社エアノート	生産性の向上、時間の創出、コスト削減	9
CASE - 5	株式会社イエテック	フォーム作成ツールによる作業負担軽減、印刷費用削減	10
CASE - 6	株式会社メイプル・ホーム	テレワーク環境の整備による移動時間削減	11
CASE - 7	株式会社北祐	テレワークツール導入による業務効率化	12
CASE - 8	株式会社ヤマテック	業務効率化、電子帳簿保存法対応、データ損失リスクの低減	13
CASE - 9	山鋼札幌株式会社	作業工数の削減、紙の使用量削減	14
CASE - 10	株式会社JSDハイセル	状況把握、電子帳簿保存法の対応	15

01 「DX化」について

DX化とは

DXとは、Digital Transformation（デジタルトランスフォーメーション）の略で、直訳すると「デジタル変革」という意味になります。

DX化を行うということは、企業がAI、IoT、ビッグデータなどのデジタル技術を用いて、業務フローの改善や新たなビジネスモデルの創出だけでなく、レガシーシステムからの脱却や企業風土の変革を実現させることを意味します。

DX推進はあらゆる企業にとって、変化の激しい時代のなかで市場における競争優位性を維持し続けるための重要なテーマとなっています。



DX化を進めると…

業務改善をはじめ様々な経営変革に繋がります！



AIツールを導入し
業務改善ができた！



顧客との連絡・連携が
スムーズに！



新たなマーケットに
挑戦できた！



生産性が上がり
利益が向上した！

私たちは、DX化を進め従業員やお客様取引先、金融機関などのステークホルダーに"選ばれる企業"になるサポートをいたします。

02 中小企業DXハンズオン 相談支援の流れ

ご相談をいただいてから、ご支援させていただくまでの流れをご紹介します

4つのステップでDX化をサポート！



資格を保有した専任DXアドバイザーによる
定期訪問と伴走支援で企業のDX化をサポートします。

STEP 01

現状把握と課題整理



現状把握

DXヒアリングの実施と直近3か年決算書(最低直近1か年)の収集を行い現状把握を行います。



可視化

業務で扱う情報について、流れ・媒体・受渡方法などをヒアリング一覧表にて可視化(当社作業)致します。



課題整理

診断結果を元に課題を整理し、「DXによる売上拡大」「DXによる業務改善」「DXによるリスク回避」に沿った目標を設定します。

STEP 02

DX(デジタル化)計画の策定

ステップ1にて抽出した課題を取りまとめ、実現可能な目標設定を行ったあと、支援期間内に事業を完了するための計画書(ロードマップ)を作成・提案致します。

対象支援企業とアドバイザー間で課題に対する意識や方向性を共有し、意見交換を踏まえつつ、計画を策定していきます。

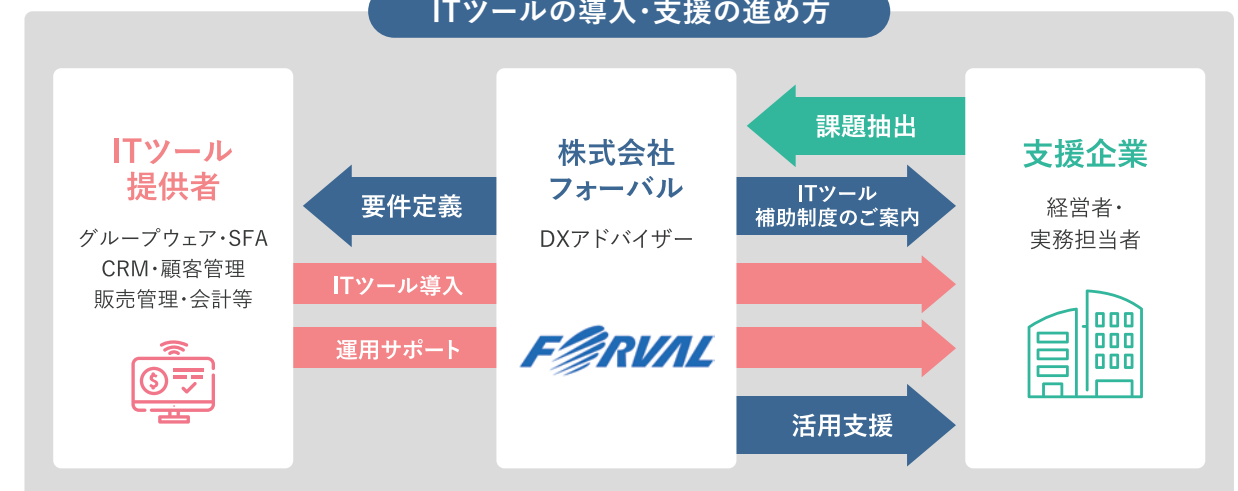


STEP 03

ITツール導入支援

- ITツールの導入には、実費費用が掛かる為、活用可能性が高い公的機関の各種補助、助成制度を支援企業に案内し、補助及び助成金獲得のための支援を行います。
- 担当する伴走支援者(DXアドバイザー)が導入したITツール提供先と連携し、有効活用が出来るよう、またITツール導入による課題解決が実現出来るよう伴走支援致します。

ITツールの導入・支援の進め方



STEP 04

ITツール活用・効果測定

- ITツールの導入前と導入後について専門的な観点から効果測定を実施致します。
- 「DX(デジタル化)計画の策定」にて作成したロードマップを元に進捗状況を整理分析を行い、新たな課題への取り組み項目の割り出しを行います。



03 相談事例紹介

CASE - 1

星北商事株式会社

| 事業内容 運送業(引越請負業、古物商)

| 従業員数 13名

事業参加までの
背景・課題

従業員の勤務時間の管理、把握に課題を持っていた。従来は対面でドライバーの勤務時間管理を行っていたが、事務所従業員とドライバーの勤務時間を正確に且つ効率的に管理していきたいと思い、本事業に参加した。

取組内容 | 勤務時間のデジタル管理による業務効率化

課題解決のために勤怠管理ツール(HRMOS勤怠)を選定した。
導入後、アカウントの発行や機能の打合せを実施した。
また、シフト管理などの細かな設定、問題点の洗い出しを併せて行った。
現在は、シフトの要望を取得するフローを検討中。

導入ツール

■ HRMOS 勤怠

導入成果・成果予測

- ✓ 勤怠管理ツール活用により、集計工数の削減につながった。
- ✓ ペーパーレス化により、印刷費の削減につながった。
- ✓ ペーパーレス化により、Co2排出量の削減につながった。
- ✓ DXを推進することでの効果を実感し、今後も進めていく意欲が高まった。

5時間/月
削減紙の使用量
削減

導入担当者の声

当社では従業員の勤怠管理を紙ベースで行っていたこともあり、時間がかかっていましたが、支援していただいてからは、一元管理ができるようになり、集計する時間も大きく削減が出来た事でメリットを多く感じました。またDXに対する考え方をアドバイスいただけたことで、今後もDXを進めて行きながら会社のブランド向上を図っていききたいと思います。

担当アドバイザーより
お客様の課題による伴走支援の進め方

元々労働時間の管理を紙からデータで管理できるようにしたいと考えており、勤怠管理ツールを検討していましたが、初期設定や機能面、操作など調べる時間が取れず着手出来ていませんでした。お客様の勤務形態が複数あった為、データでの管理が実現できるかの検証をゴールに支援しました。

CASE - 2

株式会社プライマル

| 事業内容 不動産業

| 従業員数 4名

事業参加までの
背景・課題

既にデジタルツールを導入しているものの、業務効率につながっている実感がなかった。そのため、業務において改善できることがあればアドバイスをもらいながら取り組みたいと思い、本事業に参加した。

取組内容 | 導入済デジタルツール利活用による業務効率化

Googleカレンダーの活用方法として、訪問先名だけでなく移動時間も入力するようアドバイスした。「空き時間」も記載することで、スケジュールに空白時間がないようにするルールを定めた。また、chatworkによるタスク管理活用支援の実施や、GoogleFormsの導入による管理物件の整理支援を実施。

導入ツール

■ Googleカレンダー
■ chatwork
■ GoogleForms

導入成果・成果予測

- ✓ 翌日分のスケジュールを前日までに入力することにより、次の日の業務計画を社員自ら考えられるようになり、当日のアイドルタイムがなくなり、効率化につながった。
- ✓ タスクを可視化することにより、業務の見落としがなくなった。

業務時間
効率化リスクの
低減

導入担当者の声

事業に参加して、第三者(アドバイザー)からのアドバイスをいただけた事が非常に有難かったです。また社員のスケジュールやタスクの管理を細かく記載することで、他部署の社員もスケジュールを把握できるようになったことや、社員同士が連絡を取り合って業務を進めるようになり、効果を実感し始めているところです。これからも継続し、改善につなげていきたいと思っています。

担当アドバイザーより
お客様の課題による伴走支援の進め方

既にデジタルツールを利用されていましたが、効果的な使い方ができておらず、業務効率改善に繋がっていませんでした。そこで、利用しているツールの使い方を見直し、どのような変化があったのかを支援時に確認し、不都合があれば修正、継続実施することにより、定着化から効率改善に繋がることを想定して支援しました。

CASE - 3

株式会社エンヴェロップ

| 事業内容 建具工事業

| 従業員数 2名

事業参加までの
背景・課題

大手企業との取引があり、今後デジタル化が進む上で元請けから求められる事について対応できる状態にしておくべきだと危惧していた。一方で、自社がやるべき事が依然として整理されていなかった。

取組内容 | 業務の効率化及び電子帳簿保存法への対応

電子契約については電子契約ツール(シムワーク)を選定し、電子契約の利点、フローの説明、運用について支援を実施した。

経理書類の管理についてはクラウド型会計ツール(eco会計クラウド)を選定し、導入作業や証票登録作業・テスト運用を実施。

導入ツール

- シムワーク
- eco会計クラウド

導入成果・成果予測

- ✓ 実際に電子契約を使っているところも増えてきている中で、早期の整備ができた。
- ✓ 書類をデジタルで保管する事で管理の効率化に繋がった。
- ✓ 電子帳簿保存法改正に向けた整備ができた。

業務効率
UP多様な
働き方へ

導入担当者の声

当社では見積りから集金迄の一連のフローを紙媒体で行っていましたが、今回ご支援頂き、デジタル化により時間短縮及び整理作業が格段に上がりました。また、DXのアドバイスを頂けたので今後もDXを進めていきたいと思います。

担当アドバイザーより
お客様の課題による伴走支援の進め方

大手企業との取引があり、今後デジタル化が進む上で元請けから求められる事については対応できる状態にしておきたい要望がありました。その中でも電子契約は実際に使っているところも増えてきているため、自社で活用する事を想定し、ツールの操作や電子帳簿保存法の理解を含め、対応できる状態にしておきたい事を踏まえたツールの選定、活用までの支援を行いました。

CASE - 4

株式会社エアノート

| 事業内容 管工事業(エアコン点検・修理・施工)

| 従業員数 7名

事業参加までの
背景・課題

基幹業務はデジタル化されているものの、いまだ業務において無駄があるだろうと思っていた。在宅勤務の環境やデータ管理に対する不安点、業務上削減できる無駄などを改善するため、本事業に参加した。

取組内容 | 生産性の向上、時間の創出、コスト削減

テレワーク環境ツールの選定・導入支援を実施。

また、現場写真を社員が携帯電話から社内サーバーにアクセスが出来る環境ツールを選定・整備。整備した環境を活用する為の勉強会の計画や、札幌市の「テレワーク補助金」のアドバイスを実施。(ツール導入に活用)

導入ツール

- YAMAHA L2TP VPN
- Microsoft RemoteDesktop
- Buffalo Webaccess iアプリ
- Buffalo NAS
- ノートパソコン

導入成果・成果予測

- ✓ 在宅からでも事務所と同様の業務作業が行えるようになり、多様な働き方に対応できるようになった。
- ✓ 事務員の保存作業を忘れる事や、二重作業が改善され、作業精度の向上や作業効率のアップを実現。
- ✓ 補助金を活用することにより、自己負担を軽減することができた。

6時間/月
削減60万円
自己負担
軽減

導入担当者の声

事業に参加し、当社で課題になっていたことが一度に複数解決できました。特にVPNによるリモートアクセスとリモートデスクトップについては働き方が変わる大きなきっかけになります。まだまだ活用できていない点、もっとデジタル化していく点があるのでこれからもご指導、アドバイスお願いします。

担当アドバイザーより
お客様の課題による伴走支援の進め方

お客様の方で業務において見直しができる点があるだろうと思われていましたので、業務の流れについてヒアリングを行いました。状況のヒアリングにより課題を抽出し、改善の支援を行いました。課題改善を進める上で、ツールの導入する際に費用が発生する事から、札幌市の助成金を案内し、お客様の自己負担を少しでも軽減出来るよう併せて支援を行いました。

CASE - 5

株式会社イエテック

| 事業内容 水道設備業(便器・水道蛇口・洗面化粧台等の販売)

| 従業員数 2名

事業参加までの
背景・課題

日報を紙に書き、写真に撮ってLINEで送り、事務員が受け取り後、印刷して保管を行っていた為、作成と管理に時間がかかっていた。その他の業務においても効率化を目指していきたいと感じていたため、本事業に参加した。

取組内容 | フォーム作成ツールによる作業負担軽減、印刷費用削減

日報作成のためにフォーム作成ツール(GoogleForms)を選定し導入し、エクセルでの一覧管理に変更。ディスプレイモニターを導入。売上管理のためのアプリ(ザックリ収支管理)を選定し導入。カタログ活用方法を紙からタブレットに変更。(タブレットは導入済み)

導入ツール

- Microsoftforms
- ディスプレイモニター(デュアル用)
- ザックリ収支管理

導入成果・成果予測

- ✓ 業務終了後、帰宅してから紙の日報に記載し、LINEで報告と手間がかかっていたことから日報入力負担軽減になった。
- ✓ 書類管理のデジタル化により印刷枚数の削減になった。
- ✓ タブレット1つで多数の商品説明が可能になった。
- ✓ 日時で売上管理をすることにより、売上目標に対する意識が高くなった。

業務効率
UP紙の使用量
120枚/月
軽減

導入担当者の声

技術的なサポートはもちろん、経営に関する相談まで、真摯に向き合ってくださいました。手書きで提出していた日報や、売り上げ推移などを、フォームやアプリに代替しました。また、どこにいてもすぐにデータを見られるようにし、業務の時間短縮、売り上げに対するモチベーション向上にも繋がり、新たな戦略を立てるきっかけとなりました。これからも少しずつDXを進めていき、他社との差別化、競争力の向上に努めたいと思います。

担当アドバイザーより
お客様の課題による伴走支援の進め方

業務がほぼアナログ的に行われていたため、デジタル化への取り組みに対して「難しい」と感じないよう、簡単に効果が実感できることから始めていこうと考え、日報のデジタル化支援からスタートしました。次に、カタログのデジタル化に取り組みました。さらに、作業効率UPのためのデュアルディスプレイモニターでの業務を実践し、日々の売上管理など、前向きに取り組んでいただけたため、想像以上にDX化を進めることができました。

CASE - 6

株式会社メイプル・ホーム

| 事業内容 不動産管理業

| 従業員数 2名

事業参加までの
背景・課題

札幌と富良野の拠点があり、富良野は環境が整備されていなかったため、札幌にいる時と同様の業務ができない状態だった。どちらにいても業務ができる環境を作りたいと感じ、本事業に参加した。

取組内容 | テレワーク環境の整備による移動時間削減

札幌、富良野のどちらでも同様に業務作業が行えるようなテレワーク環境ツールの選定・整備を実施。導入後、整備した環境を利活用する為の支援を実施。

導入ツール

- サーバー
- VPN
- ノートPC

導入成果・成果予測

- ✓ 札幌、富良野どちらにいても同様の業務作業が行えるようになり多様な働き方が対応できるようになった。
- ✓ そのため札幌と富良野間の行き来が週3回程から月2回程度まで減らせる事ができ、移動時間が大きく削減した。

多様な
働き方へ44時間/月
移動時間
削減

導入担当者の声

この度、支援を受けて遠隔地でのリモートワーク体制を整えていただき大変助かりました。札幌と富良野の行き来が週3回程あったのが、月2回程度迄減らす事が出来ました。札幌の事務所がそのまま富良野に有る状況が出来、心身共に大きな負担が無くなり、更なる事業展開と社内体制の充実に力が入れると感じております。

担当アドバイザーより
お客様の課題による伴走支援の進め方

お客様の課題が、事務所でしか業務作業ができないと明白だった為、環境を整備すれば改善できると予測ができました。そのため、環境の整備後、利活用していただく為のフォローを意識して支援を行いました。

CASE - 7

株式会社北祐

| 事業内容 内装工事業

| 従業員数 3名

事業参加までの
背景・課題

現場での作業終了後、事務所に戻り事務作業を行っていたが、より有効的に時間を活用できないか模索していた。外出先でも事務作業ができる環境を作りたいと感じていたため、本事業に参加した。

取組内容 | テレワークツール導入による業務効率化

外出先でもオフィス同様の業務作業が行えるよう
テレワーク環境のツールを選定・整備を実施。
導入後、整備した環境を利活用する為の支援を実施。

導入ツール

- サーバー
- VPN
- ノートPC

導入成果・成果予測

- ✓ テレワーク環境整備により、オフィス同様の業務作業が行えるようになり多様な働き方が対応できるようになった。
- ✓ 業務作業を行うためのオフィスへの移動時間が削減した。
- ✓ 外出先からでもオフィス同様の業務作業が行えるようになり、アイドルタイム(無作業時間)が削減した。

多様な
働き方へ紙の使用量
削減

導入担当者の声

当社の業務内容は現場での業務・打合せが主で、この度のDX導入したことで空き時間の効率化が図れました。また、紙の削減、従業員の残業時間が減りメリットを感じております。今後ともDXを進めながら、業務の効率化・従業員の賃金UPに繋がる様に頑張りたいと思います。

担当アドバイザーより
お客様の課題による伴走支援の進め方

様々なお客様を支援している中で、今まで環境の整備やツールを導入したことで満足されてしまい、十分に活用されていない声をお聞きすることが多かったため、利活用いただく為の運用面でのフォローを意識して支援を行いました。

CASE - 8

株式会社ヤマテック

| 事業内容 外装工事業(サイディング)

| 従業員数 7名

事業参加までの
背景・課題

紙書類の運用が多く、デジタル管理が出来ていなかった。社員の病欠時に業務に支障が出た経験から、デジタル化を推進し、テレワークができる環境の整備や管理方法を改善したいと感じたため、本事業に参加した。

取組内容 | 業務効率化、電子帳簿保存法対応、データ損失リスクの低減

勤怠管理ツールの選定・導入を実施。
電子帳簿保存法に対応したクラウド型会計ツールの選定・導入を実施。
ツール導入後、ツールを利活用する為の支援を実施。

導入ツール

- HRMOS勤怠
- eco会計クラウド

導入成果・成果予測

- ✓ 勤怠管理の効率化による作業時間工数の削減ができた。
- ✓ 過去の書類を探す時間工数の削減ができた。
- ✓ 経理書類損失リスクの低減ができた。
- ✓ 電子帳簿保存法改正に向けた整備ができた。

業務時間
効率化リスクの
低減

導入担当者の声

従業員の勤怠管理をエクセルで行っていたので打ち込み時間の短縮をすることができました。電子帳簿保存法への対応やDXの取り組みでアドバイスをいただき、これからの時代に柔軟に対応し、効率的に無駄なく企業価値を高めていければと思っています。

担当アドバイザーより
お客様の課題による伴走支援の進め方

デジタル化に対しては前向きに取り組む考えを持たれており、今後対応を迫られる電子帳簿保存法への対策と現状の管理体制の見直しを実施しました。現状の業務管理の方法をヒアリングしていく中で、勤怠管理をエクセルで行われ、入力の手間を含み、作業時間がかかっていたため、効率的な活用ができる環境の整備を実施しました。

CASE - 9

山鋼札幌株式会社

| 事業内容 鉄鋼2次卸業、金属製造加工業

| 従業員数 28名

事業参加までの
背景・課題

勤怠管理を含む業務全般において紙での管理を行っていたが、管理に時間がかかっていた。以前より工数の削減を行いたいと感じていたため、本事業に参加した。

取組内容 | 作業工数の削減、紙の使用量削減

紙使用業務の洗い出しを実施。運転日報についてはフォーム作成ツール(forms)を選定。選定後、日報のテンプレートを作成し、利活用する為の支援を実施。勤怠管理については勤怠管理ツール(HRMOS勤怠)を選定、導入。導入後、HRMOS勤怠を登録し初期設定実施。(検証を予定)

導入ツール

- forms
- HRMOS勤怠

導入成果・成果予測

- ✓ デジタルで日報管理ができるようになり、集計データの蓄積が可能となった。
- ✓ 勤怠管理集計工数の削減になった。

2時間/月
削減紙の使用量
削減

導入担当者の声

当社は、今まで運転日報を紙ベースで行っていましたが、この度ご支援をいただき、アプリでの管理に移行できた事により作業時間の短縮が出来ました。まだまだDXに関して取り組むことが沢山ありますので、いただいたアドバイスを参考に今後も取り組んでまいります。

担当アドバイザーより
お客様の課題による伴走支援の進め方

業界的にペーパレス化が進んでおらず、進めていきたいが難しいとされていました。そこで自社内での業務において対応可能な部分から始め日報や勤怠管理をデジタル対応させる事からスタートし、DXのメリットを感じていただくよう支援を行いました。

CASE - 10

株式会社JSDハイセル

| 事業内容 農業コンサル業

| 従業員数 3名

事業参加までの
背景・課題

勤怠管理を今まで行っていなかったが、将来的に従業員を雇う事を考えているため、勤怠管理の必要性を感じていた。また、電子帳簿保存法の法改正に伴い書類の電子化の必要性もあるため、本事業に参加した。

取組内容 | 状況把握、電子帳簿保存法の対応

勤怠管理ツール(HRMOS勤怠)の選定、導入。導入後、整備した環境を利活用する為の支援を実施。
クラウド型会計ツール(eco会計クラウド)の選定、導入。導入後、整備した環境を利活用する為の支援を実施。

導入ツール

- HRMOS勤怠
- eco会計クラウド

導入成果・成果予測

- ✓ 勤怠管理を行う必要性が理解できた。
- ✓ 電子帳簿保存法への理解が深まった。
- ✓ 電子帳簿保存法改正に向けた整備ができた。

業務時間
効率化生産性
UP

導入担当者の声

DXの推進に当社も関心があり参加させて頂きました。会社自体、まだきちんとした形になっていないため、様々な面で活用出来る事が実感できました。これから、効率と生産性を上げ、柔軟に働く可能性を感じました。何事も新しいことを導入する際は、少し抵抗がありますが、実際に活用し続けることで、今までよりも確実に導入して良かったと感じています。これからは、DXを上手にバランスをとりながら活用したいと思います。

担当アドバイザーより
お客様の課題による伴走支援の進め方

DXを推進していく意欲を持ちつつも、取り組むことができていませんでした。DXに関しては、一からのスタートであったため、現在の業務内容のヒアリングより、改善が見込める勤怠管理と電子契約、クラウド会計に焦点を当てて支援を行いました。デジタルツールを導入しても、活用しきれていないケースが多い事から、導入前に体感していただくことが重要だと考え、デモンストラレーションの実施を含めた支援を行いました。

お問い合わせ

[発行]

一般財団法人 さっぽろ産業振興財団 IT産業振興部

〒004-0015 札幌市厚別区下野幌テクノパーク1丁目1-10

札幌市エレクトロニクスセンター

Tel : 011-807-6000 Fax : 011-807-6005 Mail : it-pro@sec.or.jp

札幌市経済観光局経済戦略推進部 イノベーション推進課 IT産業係

Mail : it.contents@city.sapporo.jp